

あわらし教育委員会定例会

日 時 令和7年5月23日（金）午後1時30分～

場 所 あわらし役所 議会委員会室

～会議次第～

1 開 会

2 教育長挨拶

3 会議録の承認

4 会議録署名員の指名

5 教育長報告

6 4～5月教育委員会行事報告

7 議 案

議案第13号 臨時に代理した事務の承認を求めることについて
(附属機関委員の委嘱又は任命について)

議案第14号 令和7年度あわらし市一般会計補正予算(第1号)に関する意見について

8 報告事項

- (1) 思い出作り体験入浴について
- (2) 国際交流派遣事業について
- (3) あわらし市文化財保存活用地域計画について
- (4) 第22回あわらし市トリムマラソンについて
- (5) 全国大会等出場選手について
- (6) 5～6月教育委員会行事予定について
- (7) その他

9 そ の 他

10 閉 会

4～5月教育長報告

- 1 全国市町村教育委員会連合会第1回常任理事会・理事会
4月18日（金） 13：00～ アルカディア市ヶ谷
- 2 東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会
4月24日（木）～25日（金） 三重県伊勢市
- 3 福井県都市教育長協議会総会
4月30日（水） 16：00～ 福井市役所
- 4 第77回福井県小学校長学校運営研究大会
5月2日（金） 13：00～ ハートピア春江
- 5 学校運営研究会
5月12日（月） 15：00～ 第3回 203会議室
- 6 教育委員任命書交付式
5月13日（火） 9：00～ 市長室
- 7 市議会
5月13日（火） 13：30～ 全員協議会 全員協議会室
5月22日（木） 9：30～ 本会議 議場
終了後 予算決算常任委員会 全員協議会室
- 8 第75回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会
5月15日（木）～16日（金） 埼玉県川越市
- 9 市町教育長会議
5月19日（月） 13：00～ 第2回 教育長室

4～5月 教育委員会 行事報告

1 / 1

令和7年4月18日～5月23日

月	日	曜日	時間	行 事 名	場 所	所 管	委 員	教育長	部長等
4	18	金	13:00	全国市町村教育委員会連合会第1回常任理事・理事会	アルカディア市ヶ谷	教総		○	
	19	土	9:00	第26回東尋坊杯招待小学生バレーボール大会	トリムパークかなづ	スポ		○	
			13:00	はしもとみお彫刻展 音を刻むいきものたち 開幕式	金津創作の森美術館	文学		○	
	21	月	19:00	あわら市文化協議会総会	正庁	文学		○	
	22	火	15:00	坂井地区初任者研修合同研修会	正庁	教総		○	
	23	水	19:30	あわら市子ども会育成連絡協議会総会	正庁	文学		○	
	24	木	13:45	東海北陸都市教育長協議会定期総会・研究大会(～25日)	シンフォニアテクノロジーホール伊勢	教総		○	
	27	日	7:15	蓮如の里ふるさとの道を歩く会	市役所～吉崎	文学			
5	30	水	16:00	福井県都市教育長協議会総会	福井市役所	教総		○	
	2	金	13:00	第77回福井県小学校長学校運営研究大会	ハートピア春江	教総		○	
	10	土	9:30	森のアートマーケット2025(～11日)	金津創作の森美術館	文学			
	12	月	9:30	第3回学校運営研究会(第3回校長会)	203会議室	教総		○	教総課長・審議監
	13	火	9:00	教育委員任命書交付式	市長室	総務	齊藤委員	○	部長
			13:30	★議会 全員協議会	全員協議会室	議会		○	部長
	15	木	9:00	第75回全国都市教育長協議会定期総会・研究大会(～16日)	ウエスタ川越	教総		○	
	18	日	8:20	第22回あわら市トリムマラソン	市役所	スポ	齊藤・坂井・小坂委員	○	部長等
			10:00	一道会新緑茶会	金津創作の森	文学		○	
	19	月	13:00	第2回市町教育長会議(WEB会議)	教育長室	教総		○	
	20	火	15:30	教育支援委員会(専門委員会)	101会議室	教総			課長・審議監
	21	水	8:20	芦原小学校運動会	芦原小学校	教総		○	
			16:00	少年愛護センター運営委員会	203会議室	文学	坂井委員	○	
	22	木	8:50	本荘小学校運動会	本荘小学校	教総		○	
			9:30	★議会 本会議(開会)	議場	議会		○	部長
			終了後	★議会 予算決算常任委員会	全員協議会室	議会		○	部長
	23	金	13:30	教育委員会定例会	議会委員会室	教総	◎	○	全課

**議案第 13 号 臨時に代理した事務の承認を求めることについて
(附属機関委員の委嘱又は任命について)**

あわら市教育委員会教育長事務委任規則第 4 条の規定により別紙のとおり事務を臨時に代理したので、同規則第 5 条第 2 項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

令和 7 年 5 月 23 日提出

あわら市教育委員会
教育長 甲 斐 和 浩

あわらし教育支援委員および専門委員名列

任期：令和6年4月1日～令和8年3月31日

	氏 名	区 分	住 所 ・ 学 校 等	職	備考
1					
2					
3				中学校長	
4				小学校長	
5				特別支援 学級担任	(専門委員)
6				特別支援 学級担任	(専門委員)
7				特別支援 学級担任	(専門委員)
8				特別支援 学級担任	(専門委員)
9				教務主任	(専門委員)
10				特別支援 学級担任	(専門委員)
11				特別支援 学級担任	(専門委員)
12				特別支援 学級担任	(専門委員)
13				園 長	
14				市保育 カウンセラー	(専門委員)
15				教育委員	
16				指導主事	(専門委員)
17				教 諭	(専門委員)
18				教 諭	(専門委員)
19				主任指導 保育教諭	(専門委員)
20				特別支援教育 指導員	(専門委員)

議案第 14 号 令和 7 年度あわら市一般会計補正予算(第 1 号)に
関する意見について

令和 7 年度あわら市一般会計補正予算（第 1 号）に関する意見について、委員会
の意見を求める。

令和 7 年 5 月 23 日提出

あわら市教育委員会
教育長 甲 斐 和 浩

【一般会計】

単位：千円

科目	10 教育費 3 中学校費 2 教育振興費										教育総務課				
事業	1 教育振興経費（中学校）										予算書 12				
総合計画	施策の柱		教育（action3）								新規 ○				
	基本施策		学校教育の充実								拡充				
	施策の方針		学ぶ意欲と力を育む教育の推進												
	事務事業		確かな学力の育成												
事業費	補正前	25,480		補正	287		補正後		+ 25,767						
財源内訳	国	0		県	0		市債	0		他	0		一財	287	
補正理由	中高一貫連携クラスで特別授業や特別メニュー等を実施し、連携クラスの魅力向上を図り、中高一貫教育の充実を図る。 ※常任委員会資料あり														
事業内容	報償費		140												
	委託料		147												
	・協力者謝礼 大学教授による出前講義 各校3回ずつ 大学と連携した探求学習 委託料 ・バス委託料 大学訪問及び講義体験 各校3回ずつ		0 → 140 90 50 3,500 → 3,647 147												
特定財源															

【一般会計】

単位：千円

科目	10 教育費 5 保健体育費 4 学校給食費	学校給食センター									
事業	5 給食センター給食事業経費	予算書 13									
総合計画	施策の柱 教育（action3）	新規 ○									
	基本施策 学校教育の充実	拡充									
	施策の方針 教育環境の整備										
	事務事業 学校給食の充実										
事業費	補正前	169,011	補正	1,213	補正後	+ 170,224					
財源内訳	国	0	県	1,058	市債	0	他	0	一財	155	0
補正理由	県新規事業「ふくいの食育推進事業」を活用した「地場産プラスチック給食」を実施し、児童生徒へのさらなる食育の推進を図るため、所要額を補正計上する。 ※常任委員会資料あり										
事業内容	原材料費	1,213									
	原材料費	169,011 → 170,224									
	「地場産プラスチック給食」の実施に対し、児童生徒1人当たり1食100円、年間600円を上限に県補助あり（教職員等は対象外） ・小中学生分（1,762人） ・教職員・センター職員分（259人）	1,058 155									
特定財源	分 給食費負担金（現年度分） 県 ふくいの食育推進事業補助金 諸 給食試食代	135 1,058 20									

【一般会計】

単位：千円

科目	10 教育費 4 社会教育費 2 公民館費										文化学習課	
事業	3 公民館施設管理経費										予算書	12
総合計画	施策の柱		教育（action3）								新規	
	基本施策		生涯学習の推進								拡充	
	施策の方針		生涯学習の充実									
	事務事業		生涯学習推進体制・地区推進体制の整備									
事業費	補正前	155,436		補正	1,300		補正後	+ 156,736				
財源内訳	国	0		県	0		市債	0	他	0	一財	1,300
補正理由	吉崎公民館において発生した雨漏りの修繕に係る所要額を補正計上する。 ※常任委員会資料あり											
事業内容	工事請負費				1,300							
	工事請負費 屋根修繕工事 A=151.76㎡ 一式 既存瓦撤去および再瓦葺ほか				0 → 1,300							
特定財源												

【一般会計】

単位：千円

科目	10 教育費 4 社会教育費 5 文化振興費										文化学習課			
事業	2 創作の森事業													
総合計画	施策の柱		教育（action3）											
	基本施策		文化と芸術の振興											
	施策の方針		芸術の振興											
	事務事業		金津創作の森美術館の充実											
事業費	補正前	130,469		補正	3,900		補正後	+ 134,369						
財源内訳	国	0		県	0		市債	0		他	3,900		一財	0
補正理由	一般財団法人自治総合センターの令和7年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）助成金の交付決定に伴い、補助金を補正計上する。													
事業内容	負担金、補助及び交					補助金					3,900			
	補助金 コミュニティ助成事業補助金 0 → 3,900 対象事業：アートドキュメント2025 奈良原 一高 展 令和8年1月17日(土) ～ 3月8日(日)													
特定財源	諸					コミュニティ助成事業助成金（地域の					3,900			

【一般会計】

単位：千円

科目	8 土木費	4 都市計画費	4 トリムパークかなづ費	スポーツ課	
事業	2 トリムパークかなづ経費			予算書	12
総合計画	施策の柱	教育 (action3)		新規	
	基本施策	生涯スポーツの推進		拡充	
	施策の方針	生涯スポーツの推進			
	事務事業	体育施設の充実と効率的な活用			
事業費	補正前	37,534	補正	200	補正後
財源内訳	国	0	県	0	市債
財源内訳	国	0	県	0	市債
財源内訳	国	0	県	0	市債
財源内訳	国	0	県	0	市債
補正理由	植栽の根により破損した下水管の修繕に要する経費を補正計上する。				
事業内容	需用費	修繕料	200		
	施設修繕料	450 → 650	200		
特定財源					

【一般会計】

単位：千円

科目	10 教育費	5 保健体育費	2 体育施設費	スポーツ課	
事業	1 体育施設管理経費			予算書	13
総合計画	施策の柱	教育 (action3)		新規	○
	基本施策	生涯スポーツの推進		拡充	
	施策の方針	生涯スポーツの推進			
	事務事業	体育施設の充実と効率的な活用			
事業費	補正前	21,898	補正	6,500	補正後
財源内訳	国	0	県	0	市債
財源内訳	国	0	県	0	市債
財源内訳	国	0	県	0	市債
財源内訳	国	0	県	0	市債
補正理由	釧岳グラウンド用地返還に伴う、土地の原状回復に要する経費を補正計上する。 ※常任委員会資料あり				
事業内容	工事請負費	6,500			
	釧岳グラウンド整地工事	0 → 6,500	6,500		
特定財源					

【一般会計】

単位：千円

科目	10 教育費 5 保健体育費 2 体育施設費										スポーツ課	
事業	3 海洋センター管理経費										予算書	13
総合計画	施策の柱 教育（action3）										新規	
	基本施策 生涯スポーツの推進										拡充	
	施策の方針 生涯スポーツの推進											
	事務事業 体育施設の充実と効率的な活用											
事業費	補正前	4,848		補正	165		補正後	+ 5,013				
財源内訳	国	0		県	0		市債	0	他	0	一財	165
補正理由	会議室空調機の修繕に要する経費を補正計上する。											
事業内容	需用費	修繕料						165				
	施設修繕料	50 → 215						165				
	会議室空調基盤修繕											
特定財源												

【一般会計】

1 中高一貫連携クラス魅力向上事業について

【教育総務課】

1 目的

平成19年度から市内両中学校と金津高校が連携して進めている中高一貫教育では、中学での高校の内容の一部先取り授業や高校での大学受験に向けた時間割の編成など、中学・高校において連携クラス独自のカリキュラムによる学習を実施し、社会のリーダーとなる生徒を育成するとともに高校卒業まで地元の学校で過ごすことによる「ふるさと愛」の醸成を図っている。

しかしながら、今春の国の就学支援金制度改正によりR8年度より私立を含めた高校授業料が実質無償化となることから、これまで以上に私立高校入学希望者が増加し、連携クラス希望者さらには金津高校への入学希望者が減少することが懸念される。

このため、中高一貫連携クラスのさらなる魅力向上を図ることで、大学進学を希望する学習意欲の強い中学生を呼び込み、連携クラスのレベルの底上げにつなげる。これにより金津高校の大学進学状況がより向上し、ひいては金津高校を希望する生徒が増加するとともに、県内大学の魅力に直接触れることで大学進学時に県内にとどまる生徒が増えることを目的とする。

2 令和7年度取り組み内容

①大学教授出前講義

実際の大学講師が両中学校で1回ずつ講義を実施（講師は最大で3人を想定）

※大学の講義に近い形で中学生にわかるような模擬講義を実施

②県内大学視察

授業の一環として、福井大学、福井県立大学、福井工業大学などに赴き、実際の大学の施設内の散策や講義風景等を見学するなど、大学生生活を疑似体験する

③大学生との連携学習

中学校の探究学習で、大学生との意見交換やアドバイスをもらうなど、上記大学と連携し協働で学習に取り組み、直接大学生と触れ合うことで刺激を得る

3 予算額(事業費) 287,000円

①大学教授出前講義	謝礼	90千円
②県内大学視察	バス委託	147千円
③大学生との連携学習	謝礼	50千円

4 事業展開イメージ

連携クラスの魅力を向上

中高一貫連携クラス(芦・金中)
○既存の独自カリキュラム
○(新規)大学連携プログラム
○(今後(案))
・県外中高一貫連携クラス交流(意見交換)
・修学旅行プラス1事業(1日延長) など

これまで以上に地元の中学、高校で過ごす生徒が増加し、ふるさと愛が醸成されることで、大学進学後のあわら市在住者の増を目指す

大学進学を希望する学習意欲の強い中学生が中高一貫連携クラスを希望

金津高校からの難関大学等合格者増

金津高校への進学希望者増

連携クラスの選抜に漏れた生徒も一般入試で金津高校へ進学

2 地場産プラスワン給食の実施について

【教育総務課学校給食センター】

1 事業概要

【目的】 県新規事業「ふくいの食育推進事業補助金」を活用し、通常の給食に地場産食材を用いた副食（おかず、デザート）を1品追加する「地場産プラスワン給食」を実施することにより、それらを教材として地域の自然、歴史、文化、伝統行事、産業を学ぶ「食育」を行う。

【補助率】 定額

【補助上限額】 児童生徒一人あたり 600円/年、100円/食

【対象】 公立小中学校の児童生徒 ※教職員は対象外

【補助対象経費】 「地場産プラスワン給食」の実施にかかる経費

【補助要件】 ・市においても「地場産プラスワン給食」の実施数と同回数の地場産給食による食育を実施していること。
・プラスワン食材を除いた状態で、1日あたりの食材費の目安となる額（以下、「基準食材費」という）を上回っていること。（基準食材費＝保護者負担額＋市補助額）

2 予算額

【歳出】 学校給食事業経費・原材料費

（単位：円）

【歳入】

（単位：円）

区分	人数	プラスワン 食材費	回数	事業費		区分	金額
小学1～3年	557	100	6	334,200	⇒	県補助金	1,057,200
小学4～6年	590	100	6	354,000			
中学生	615	100	6	369,000			
教職員	225	100	6	135,000	⇒	給食費負担金	135,000
給食センター 職員	34	100	6	20,400	⇒	雑入	20,400

1,212,600

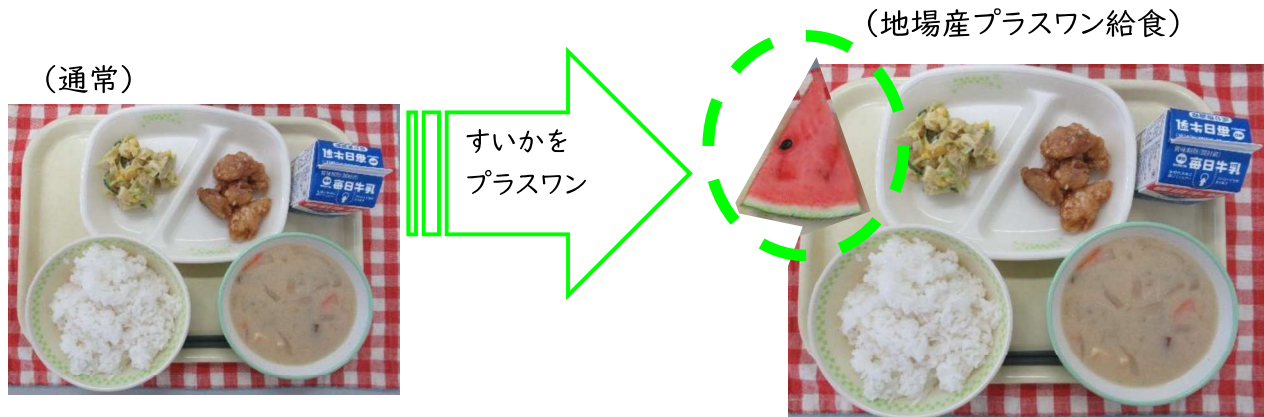
1,212,600

3 地場産プラスワン給食献立（例）

【使用食材の一例】

あわら市産・・・マルセイユメロン、すいか、梨、越のルビー、さつまいも他

福井県産・・・スズキ、シイラ、甘えび他



3 吉崎公民館雨漏り修繕工事について

【文化学習課】

1 工事概要

令和6年12月下旬に図書室から雨漏りが発生したが、冬期間であったため屋根にブルーシートを設置する等の応急処置を行った状態となっている。このことから梅雨時期を迎えるまでに屋根修繕工事を行う。

2 工期

約1か月

3 予算額

1,300千円

吉崎公民館付近位置図



北側屋根現状



古崎公民館雨漏り修繕位置図

屋根裏



天井板



天井裏断熱材

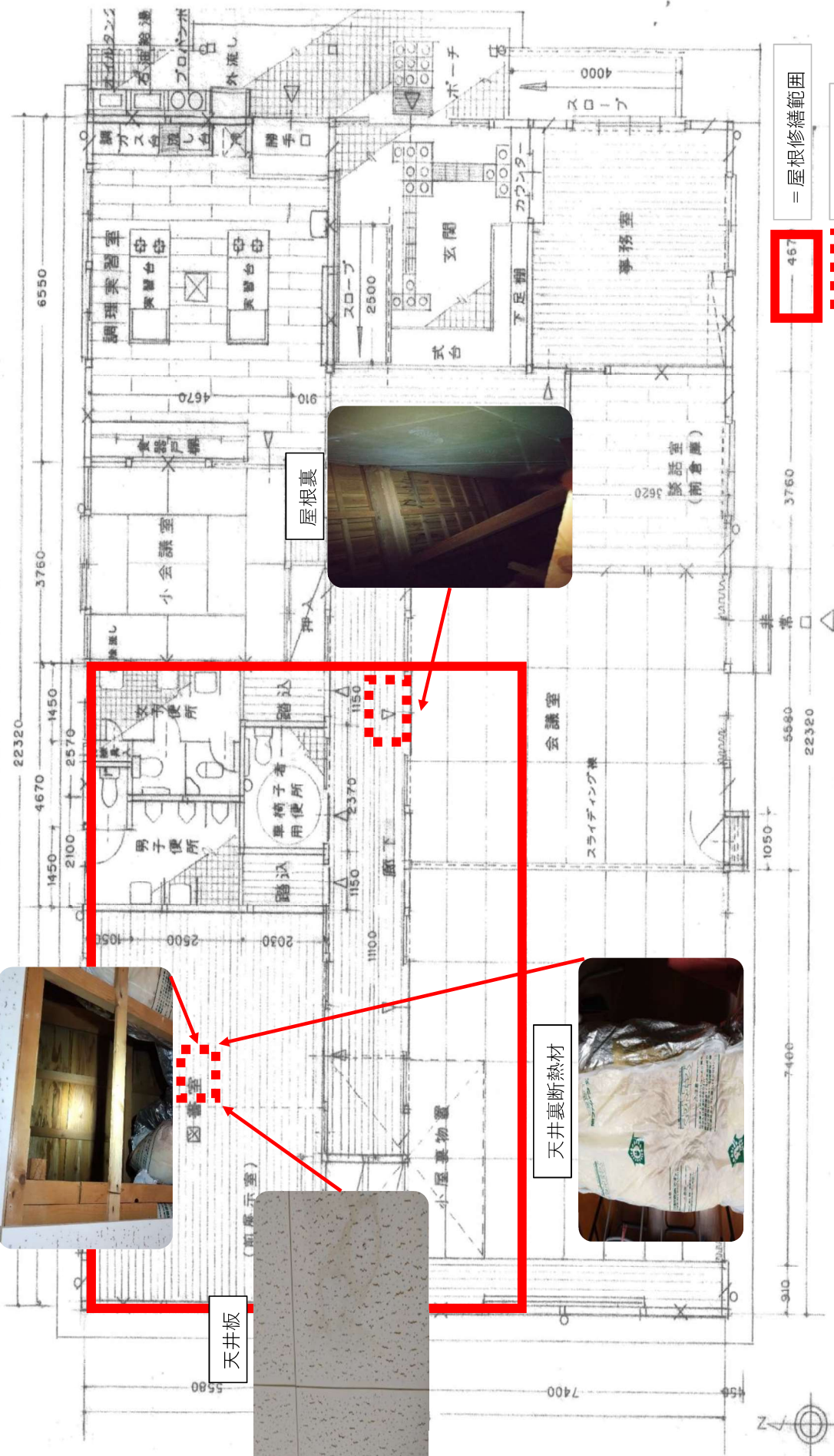
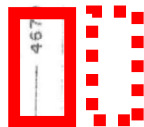


屋根裏



= 屋根修繕範囲

= 雨漏箇所



4 劔岳グラウンド整地工事について

【スポーツ課】

- 1 経 緯 劔岳グラウンドの借地返還後は、地元区主導で太陽光発電の設置の話が進んでいる。
地権者1名が原状回復による返還を希望したため、グラウンド整備前の状況（畑）に戻すべく
整地工事を実施するほか、整地を実施するにあたり、鎌谷区の神社への通路が無くなってしま
うため、地権者の要望によりグラウンド東側に神社への通路を敷設する。
- 2 工事内容 ①グラウンド整備前の高さに戻すため、客土（約600㎡）をした上で畑に整備。
②神社への通路として、3m幅で砂利を敷設する。
- 3 予算額 6,500千円



【参考】

太陽光発電事業については、
令和7年8月より着工予定

工事予定地



報告事項（１） 思いづくり体験入浴について

令和７年度思いづくり体験入浴実績表

学校名	旅館名									Bのうち 参加 児童数 (A)	新入学 児童数 (B)	参加率 (A/B)
	灰屋	白和荘	長谷川旅館	グランディア芳泉	まつや千千	グランドホテル	美松	みのや泰平閣	清風荘			
実施日	4月8日(火) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	4月8日(火) 13日(日) 20日(日)	4月12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	4月12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	4月8日(火) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	4月8日(火)	4月8日(火) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	4月12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)	4月8日(火) 12日(土) 13日(日) 19日(土) 20日(日)			
芦原小学校	5		1	10	4		1		5	26人	37人	70.3%
北潟小学校			1	2	4					7人	10人	70.0%
本荘小学校	1			1	4				2	8人	18人	44.4%
金津小学校	4		3	16	10		2		9	44人	78人	56.4%
細呂木小学校	1		1	5	1				1	9人	16人	56.3%
伊井小学校					3	1	1	1	1	7人	14人	50.0%
金津東小学校	1		1	2	3		1		1	9人	11人	81.8%
計	12人	0人	7人	36人	29人	1人	5人	1人	19人	110人	184人	59.8%

＜参考＞

年度	新入学児童数	うち参加児童数	参加率
令和元年度	213人	55人	25.8%
令和2年度			
令和3年度	173人	73人	42.2%
令和4年度	200人	91人	45.5%
令和5年度	173人	75人	43.4%
令和6年度	193人	103人	53.4%

※令和7年度は新たな取り組みとして、家庭の都合により、新入学児童と性別が異なる保護者との入浴を希望される方を対象に、長谷川旅館の協力の下、貸切風呂の提供を行ったところ、6人(6家族)の参加があった。

令和7年度 国際交流派遣事業 募集要項



《アメリカ合衆国》

【期 間】

令和7年11月2日(日)～11月11日(火) (9泊10日)

【行き先】

オレゴン州ユージーン市

ノースユージン高校、ケリーミドルスクール、友人学園小学校

《中華人民共和国》

【期 間】

令和7年12月7日(日)～12月12日(金) (5泊6日)

【行き先】

浙江省紹興市、杭州市、上海市

紹興文理学院附属中学

団員募集要項

- 1 趣 旨 国際理解教育の一環として、次代を担うあわらし市の中学生を海外に派遣し、ホームステイや授業参加を通して海外での生活を体験することにより、国際化に対応できる生徒の育成に資する。
- 2 主 催 あわらし市・あわらし教育委員会
- 3 派遣期間 (1) 米国：令和7年11月2日(日)～11月11日(火)(9泊10日)
(2) 中国：令和7年12月7日(日)～12月12日(金)(5泊6日)
- 4 派遣先 (1) 米国：オレゴン州ユージーン市
ノースユージン高校、ケリーミドルスクール、友人学園小学校
(2) 中国：浙江省紹興市、杭州市、上海市
紹興文理学院附属中学
- 5 派遣定員 (1) 米国： 4名
(2) 中国： 16名
- 6 研修内容 (1) 米国：各学校への訪問、授業参加
中国：紹興文理学院附属中学訪問、授業参加
(2) ホームステイによる交流
(3) 文化施設等の視察
- 7 応募資格 (1) 芦原中学校または金津中学校に在学する2年生であること
(2) 心身ともに健康であり、長期の団体生活に適應できること
(3) 国際理解、国際交流に深い関心を有すること
(4) 簡単な英会話能力を有すること
(5) 市の広報誌、新聞等への写真の掲載に同意すること
- 8 応募書類 応募票（担任の先生へ提出）
- 9 応募締切 令和7年5月12日（月）
- 10 選考試験 【一次試験】 令和7年6月3日（火）
英語による試験
※試験後、当日配付の質問票に日本語で回答
質問票は、二次試験の面接の資料とします
【二次試験】 令和7年6月28日（土）
口頭による試験（一次試験合格者を対象に実施）
【団員決定】 令和7年7月上旬
- 11 その他 (1) 語学研修の他、必要な事前研修があります。
(2) 渡航費用の一部（約3割）を市が助成します。
(3) 市からの助成を除いた額を参加者負担金とします。
※参加者負担金は、米国：30～45万円、中国：10万～20万円程度の見込みです。
（燃油サーチャージや為替の影響で変動があります）
(4) 渡航費用に旅券印紙等渡航手続諸費用・その他個人的費用は含まれていません。
(5) 教育委員会が指定する海外旅行保険に加入していただきます。
(6) 出発前30日以内の取消しの場合、別途定める取消料を負担していただきます。
(7) 国際情勢の変化によっては、中止となる場合もあります。
(8) 団員は応募票に記載した第一希望の渡航先別に成績上位者から内定します。なお、第一希望に内定しなかった者が第二希望を希望している場合で、かつ第二希望の渡航先が定員に達していない場合は、成績上位者から順に第二希望に内定します。
(9) 希望した派遣先が定員に達していない場合でも、応募資格を満たさないと判断した場合には、不合格になる場合があります。

訪問日程（米国）

日付	場 所	行 程	予定時刻
11/2 (日)	市役所発 国内国際空港 ----- 日付変更線 ----- ポートランド又は サンフランシスコ経由 ユージーン市 着	出発式、出国空港に向け出発 出国手続き 空港発 到着後入国手続き ノースユージン高校到着後 ホームステイオリエンテーション ホストファミリーと対面（生徒各家庭へ） 【ホームステイ先 1 泊】	
11/3 (月)	ユージーン市	ノースユージン高校にて集会や授業 【ホームステイ先 2 泊】	終日
11/4 (火)	ユージーン市	ノースユージン高校にて授業 【ホームステイ先 3 泊】	終日
11/5 (水)	ユージーン市	ケリーミドルスクールにて授業 【ホームステイ先 4 泊】	終日
11/6 (木)	ユージーン市	友人学園小学校にて授業 【ホームステイ先 5 泊】	終日
11/7 (金)	ユージーン市	オレゴン散策・授業等 【ホームステイ先 6 泊】	終日
11/8 (土)	ユージーン市	ホストファミリーとの自由研修 【ホームステイ先 7 泊】	終日
11/9 (日)	ユージーン市	お別れ会・移動 【ホテル宿泊】	終日
11/10 (月)	ポートランド又は サンフランシスコ	米国 空路国内空港へ 【機 内 泊】	
11/11 (火)	----- 日付変更線 ----- 国内国際空港 市役所	到着 到着後、解散	

※行程や日程は、今後変更になる可能性があります。

訪問日程（中国）

月 日	地 名	現地 時間	交通 手段	スケジュール
12/7(日)	市役所集合 市役所発 国内国際空港着 国内国際空港発 杭州市蕭山空港着 杭州市蕭山空港発 紹興市着		貸切バス 専用車	高速道路経由 国内国際空港へ 到着後 出国手続き 空路 杭州へ 到着後 入国手続き 貸切バスにて紹興市へ 【紹興ホテル 泊】
12/8(月)	紹興市内	午前 午後	専用車	紹興市内見学: 魯迅故里等 紹興市人民政府表敬訪問、歓迎昼食会 学校訪問（中: 紹興文理学院附属中学） ホームステイ先の生徒と帰宅 【紹興ホームステイ先 泊】
12/9(火)	紹興市内	午前 午後		生徒はホームステイ先から登校 （中: 紹興市文理学院附属中学） 学校で授業参加・昼食・交流会 学校からホームステイ先の生徒と帰宅 【紹興ホームステイ先 泊】
12/10(水)	紹興市内 杭州市着	午前 午後	専用車 専用車	生徒はホームステイ先から登校 お別れ会 （中: 紹興市文理学院附属中学） 紹興市内見学 貸切バスにて杭州市へ 杭州市内見学 夕食 【杭州ホテル 泊】
12/11(木)	杭州市内 上海市	午前 午後	専用車 専用車	集合 貸切バスにて上海市へ移動 上海市内見学 到着後 レストランにて夕食 【上海ホテル 泊】
12/12(金)	上海浦東空港発 国内国際空港着 国内国際空港発 市役所着		専用車 貸切バス	空港へ 空路 帰国の途へ 到着後 再入国手続き 高速道路経由 あわら市へ 解散 帰宅

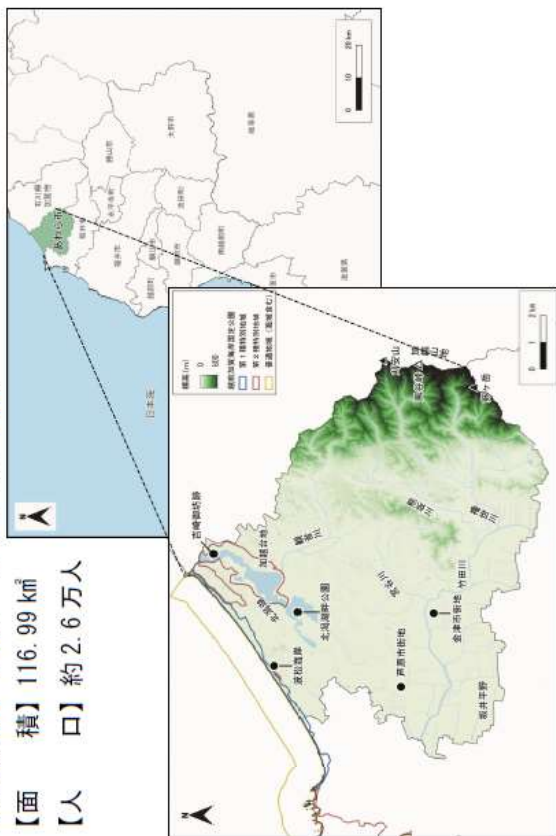
※行程や日程は、今後変更になる可能性があります。

報告事項（3） あわら市文化財保存活用地域計画について

【計画期間】令和8～17年度（10年間）

【面積】116.99 km²

【人口】約2.6万人



指定等文化財件数一覧

類型	国指定	県指定	市指定	国登録	合計
建造物	0	2	5	3	10
美術・工芸品	0	5	3	0	8
書跡・典籍	0	3	17	0	20
古文書	0	0	3	0	3
考古資料	0	0	0	0	0
歴史資料	0	1	2	0	3
有形民俗文化財	1	0	2	0	3
無形民俗文化財	0	0	5	0	5
民謡文化財	0	0	0	0	0
無形の民俗文化財	0	0	0	0	0
遺跡	0	1	1	0	2
名勝地	1	4	10	0	15
記念物	0	0	1	0	1
動物・植物・地質鉱物	0	0	9	0	9
文化的景観	—	—	—	—	0
伝統的建造物群	—	—	—	—	0
合計	2	16	58	3	79

指定等文化財は79件、未指定文化財は896件 把握

歴史文化の特性

1	低山地に分布する古墳群	4	平野に広がる農村の基礎となった荘園と、それを守った国衆たち
2	陸の道と水運を使った交通と交流	5	地域に根付く厚い信仰と祭り
3	山・平地・水に関わる多様な生産業	6	あわら温泉と温泉文化



北陸で最大の古墳数を誇る「横山古墳群」遠景
(横山古墳群 県指定史跡)

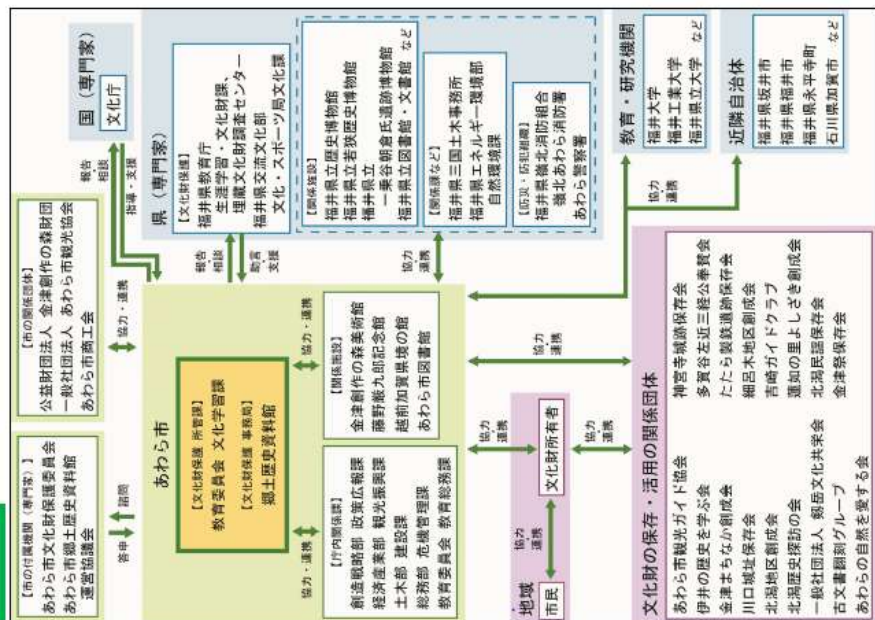


真宗王国北陸始まりの地にたつ蓮如上人像



県内では珍しい古代の製鉄道跡
(細呂木製鉄道跡 市指定史跡)

推進体制



基本理念・措置など

課題

調査研究の課題

- ① あわら市内には認識されていない文化財が数多く存在していると考えられる。
- ② 調査で把握した文化財のうち、価値の高いものは指定等に向けて専門家を交えた精緻な調査を進める必要がある。

保存・継承の課題

- ① 文化財について、地域の担い手の減少により、未来への継承について懸念がある。
- ② 文化財所有者は、保存方法や適切な保存にかかる費用の確保について懸念がある。
- ③ 未指定文化財は、市民から文化財としての価値を認識されていないことが多い。
- ④ 防災や防犯に対する設備の拡充支援が必要である。また、万が一の事態に備えた文化財の記録作り及びそのデータベース化が必要である。
- ⑤ 「吉崎御坊跡」(国指定、吉崎地区) について、本堂跡は指定されているが、歴史的に重要な多屋跡は未指定である。
- ⑥ 「横山古墳群」(県指定、坪江地区) は、群集墳としての価値が非常に高いが、指定範囲は古墳群の南北の一部に限られている。

公開・活用の課題

- ① 文化財を観光につなげる取り組みが、一部の管理団体に限られている。
- ② 文化財の情報発信が少なく、あわら市内外の人が文化財の情報を得られていない。
- ③ 指定等文化財についての説明板が更新できていない。未指定に関する説明板が整備されていない。
- ④ 観光分野と文化財の連携が十分ではない。

基本理念

文化財を保存・活用して地域を活性化し、
みんなで文化財を未来へ継承する

基本方針

基本方針 1

調査研究に対する方針

継続的な把握調査により、次代につなげる文化財を明らかにし、その中から特に重要なものは学術調査を実施し文化財の価値を明確にする。

基本方針 2

保存・継承に対する方針

市民が文化財を学び触れ合う機会を設け、地域の歴史文化の魅力を知ってもらふことで、ふるさと愛を醸成し、保存や継承につなげていく。

基本方針 3

公開・活用に対する方針

歴史文化を地域の活性化につなげるため、文化財所有者や市民、あわら市が連携して文化財を活用できる仕組みを作り上げる。

措置（一部） ※番号は課題に対応

①各地区での未指定文化財把握調査事業

未指定文化財の確認調査を各地区で実施し、把握に努める。

主体：市、専門家 協力：市民 期間：R 8～16

②把握された文化財の学術調査事業

把握されたものの中で、特に重要と思われるものは専門家を交えた学術調査を実施し、必要なものに対しては文化財への指定等を行う。

主体：市、専門家 期間：R 10～17

③所有者支援事業

文化財の保存方法支援のため、地区の公民館等で展示を実施するときに保存に関する相談会を開く。財政的支援については、補助制度の拡充を検討するほか、民間などの助成を活用できるよう所有者に案内するとともに、申請書類作成支援を行う。

主体：市、所有者 期間：R 8～17

④文化財の意識づけ事業

指定にならない文化財の中でも、市民が大事だとする文化財については、あわら市独自の登録制度を設け、登録できるようにする。

主体：市 期間：R 8～17

⑤吉崎御坊跡保存・活用事業

吉崎御坊跡に対する保存活用計画を策定する。策定に当たっては、専門家・所有者（東西本願寺）・吉崎地区の住民・県・あわら市を交えた策定協議会を立ち上げ、多屋跡を含めた保存活用の方針や学術調査の内容を協議し、事業を進める。

主体：市、所有者、専門家 期間：R 8～17

②情報発信事業

市民や来訪者が市内の文化財を気軽に知ることができるよう、デジタルアーカイブの整備を進める。また、SNS等での情報発信を行い、あわら市内の歴史や文化の魅力を多くの世代に知ってもらえるよう努める。

主体：市 期間：R 8～17

④文化財の観光活用事業

文化財を観光素材の一つと捉え、必要な施設の整備や人材育成など、観光客の受入れ体制を整え、観光振興に努める。

主体：市、関係団体 期間：R 8～17

6つの関連文化財群

①継体天皇と関連する北陸最大級の横山古墳群と 低山地に分布する群集墳

劔岳地区と坪江地区にまたがる横山古墳群は、古墳総数が300基を超える北陸最大級の古墳群である。これらは継体天皇とそれを支えた一族の古墳と考えられ、歴史的な価値が非常に高いものである。

また、劔岳地区の大型円墳である棚古墳は石室が解放されていて中を見学できる貴重な古墳である。



棚古墳（県指定史跡）

石室内に入ることができ、奥壁には中世に彫られた梵字と五輪塔が見られる。

②旧北陸道・水運・海運が交わる交通の要衝で 育まれた交流と歴史

福井県桑野遺跡出土品は、縄文時代の石製アクセサリーの中に海外の石材で作られたものが含まれた貴重な資料である。

旧北陸道は古代から設置され、金津宿は、古くからの宿場町として旧北陸道を通行する人々を迎えてきた。江戸時代になると福井藩は北陸道を整備し、千束一里塚や細呂木関所などを設置した。



千束一里塚（県指定史跡）

旧北陸道の一里塚の中では、一番立派な榎が現存している。

③劔岳・坂井平野・北潟湖・日本海 多様な地形で営まれた生産業

古墳時代では玉造、古代では製鉄が行われ、その他にも北潟湖周辺で製塩や、細呂木地区を中心とした須恵器の生産、劔岳地区では古代瓦が生産されるなど、古代のあわら市内は生産業が盛んな場所であった。

伊井地区には宮大工集団だった伊井大工がいた。本荘春日神社本殿を始め、本荘地区にある福円寺の輪転経蔵など、坂井郡の寺社建築の多くに携わった。



輪転経蔵（市指定建造物）

建物内の回転する書架にお経が納められている。伊井大工によって建てられた。

④現在の田園風景の基礎となった荘園と 国境の戦乱から守った国衆の城館群

平安時代には、河口荘が設置され、鎌倉時代には、後深草上皇が興福寺に坪江荘を寄進した。河口荘とあわせて「北国荘園」と呼ばれ、興福寺の重要な財源となっていた。

これら荘園の中から堀江氏、溝江氏、武曾氏などの在地豪族たちが頭角を現していた。武曾氏は、劔岳地区に本拠地を持ち、伊井地区にも一族が館を持っていた。



絹本着色武曾信濃守勝融像（県指定絵画）
一向一揆との戦いで活躍した
武曾勝融の肖像画

⑤地域を結び付ける信仰と祭り

蓮如上人は、吉崎に道場を構えた。多くの人々に布教し、現在でも北陸地方が真宗王国と呼ばれる基を築いていた。吉崎御山は吉崎御坊跡と呼ばれ、国指定の史跡として大事にされている。

地区の神社では、今でも春や秋の神社例祭が行われ、地区の絆を深めている。北潟地区の北潟祭は、安楽寺から神輿が出発し、八雲神社の神様を迎えて北潟地区内を巡るもので、神仏習合色濃く幾す貴重な祭りである。



北潟祭（未指定無形民俗）

安楽寺から神輿が出発する様子。北潟地区内をめぐり、最後も安楽寺に帰ってくる。

⑥平地に開湯した温泉地「あわら温泉」

あわら温泉は、明治16年（1883）に山方地区で灌漑用の井戸を掘ったところ、お湯が湧出したのが始まりで、その場所が現在温泉発祥地公園となっている。温泉開発を行った結果、74本もの源泉が湧出した。

開湯当初は、温泉を開発した村の名前から、田中温泉・二面温泉・舟津温泉と呼ばれていた。



あわら温泉発祥の井戸跡
明治16年（1883）に最初の源泉が
掘り当てられた。

関連文化財群⑥平地に開湯した温泉地「あわら温泉」

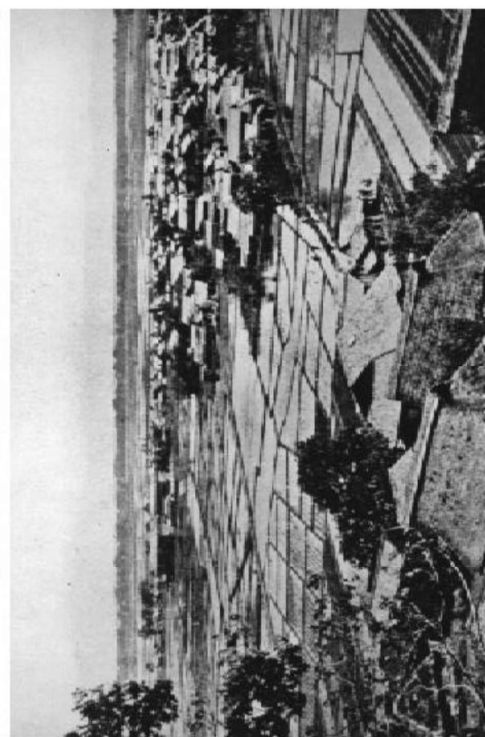
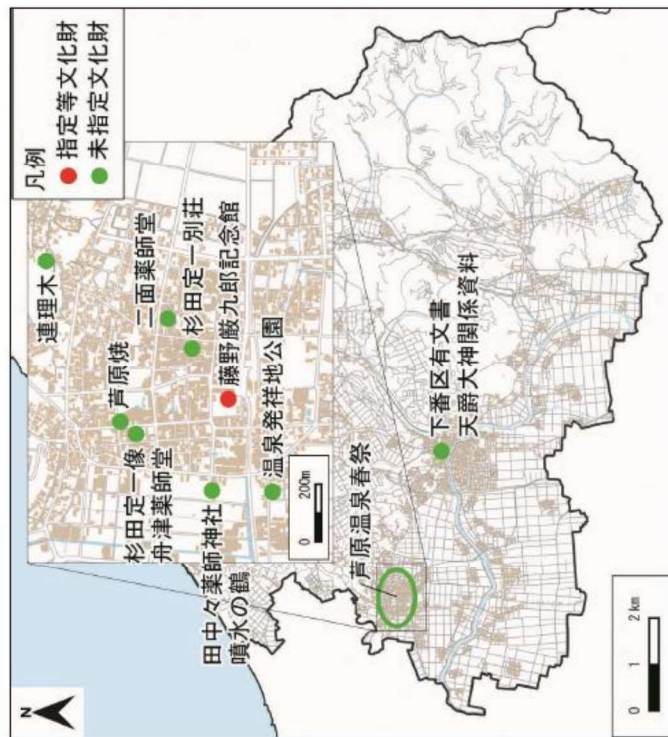
概要

あわら温泉は明治16年(1883)に、山方里方地区で灌漑用の井戸を掘ったところ、お湯が湧出したのが始まりで、その場所は今現在温泉発祥地公園となっている。初めて温泉が出た場所は4か村の境で、各村は競い合って温泉開湯を行った結果、74本もの源泉が湧出した。開湯当初は、温泉を開湯した村の名前から、田中温泉・二面温泉・舟津温泉と呼ばれていたが、後に温泉街の中心あたりの地名から「芦原温泉」と呼ばれるようになった。現在、温泉地区に田中温泉区・二面温泉区・舟津温泉区があるのは開湯当初の名残である。

周囲が田畑や湿地だったあわら温泉には、実用的な交通路がなかった。そこで、明治21年(1888)に温泉街と坂井市春江町針原を結ぶ福井新道(現県道5号・芦原街道)を作ることになり、その工事を、当時このあたりの道路建設で活躍していた「天爵大神」こと水谷忠厚に依頼して実施した。水谷忠厚は元尾張藩士で、周囲の人を巻き込みながら圧倒的な行動力で事業をすすめる道路を完成させた。

温泉地区の中には薬師如来に所縁のある2堂1社があり、「お薬師さん」と親しみを込めて呼ばれている。これらは温泉地区の人々が、温泉の発展と湯治客に効験がある事を念じて勧請したものである。お薬師さんの祭りとして「あわら温泉春祭」がある。始まりは、明治時代終わりから大正時代はじめのころで、神輿の渡御をはじめ、人形山車、花山車、太鼓山車など多彩な山車が出ている。特に花山車の中では芸妓が華やかなお囃子を奏で、あわら温泉街ならではの祭の風情を演出している。

主な構成文化財



明治時代末の芦原温泉(北より)
舟津春日神社付近から撮影したもの。当時の周辺は一面田畑だった。

主な構成文化財一覧

番号	名称	文化財種別	指定区分	所在地
1	藤野蔵九郎記念館	建造物	国登録	温泉地区
2	杉田定一別荘	建造物	未	温泉地区
3	下番区有文書	古文書	未	市郷土歴史資料館
4	天爵大神関係資料	歴史資料	未	市郷土歴史資料館
5	噴水の鶴	歴史資料	未	温泉地区
6	杉田定一像	歴史資料	未	温泉地区
7	芦原温泉春祭	無形民俗	未	温泉地区
8	芦原焼	無形民俗	未	温泉地区
9	温泉発祥地公園	史跡	未	温泉地区
10	田中々薬師神社	史跡	未	温泉地区
11	二面薬師堂	史跡	未	温泉地区
12	舟津薬師堂	史跡	未	温泉地区
13	連理木	天然記念物	未	山方里方地区

課題

温泉地区については『開湯芦原100年史』をはじめ、文化財や歴史を伝えるものが編纂されているが、文化財として記録されたものが現在まで残っているか現況確認ができていない。

方針

これまでで確認された文化財の確認をする。

措置

温泉地区文化財確認事業

これまでに把握された文化財の現況確認調査を実施する。その上で残っている文化財が温泉街の活性化につながるよう検討する。

主体：市、所有者 協力：市民 期間：R8～17

文化財保存活用地域計画策定スケジュール(全体)

令和5年度												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会					第1回協議会 (8/2) 委員委嘱 概要説明						第2回協議会 (2/9) 第1章～第3章 素案検討	
策定作業												
								第1章～第3章素案作成				
イベント												
											中央公民館祭	

※各地区の公民館等で、市地域計画のPRと文化財の把握調査を実施した

令和6年度												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会								第3回協議会 (11/14) 第4章・第5章 素案検討			第4回協議会 (2/26) 第6章・第7章 素案検討	
策定作業												
					第4章～第5章素案作成				第6章～第7章素案作成		素案修正	
イベント		伊井公民館祭				文化財調査収集						

令和7年度												
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
協議会				第5回協議会 計画提出前 最終検討						第6回協議会 認定報告		
策定作業		素案修正 文化庁 確認		文化財保護 委員会			提出後校正(各省庁確認)				計画書印刷・配布	
イベント		教委提出	議会提出 パブコメ	庁内決裁	計画提出 (予定)				計画認定 (予定)			シンポジウム

報告事項（４） 第22回あわら市トリムマラソンについて

令和 7 年 5 月18日開催

申込者数および完走者数の推移（過去 3 年分）

単位：人

		R 5 (20回)	R 6 (21回)	R 7 (22回)	R6とR7の 比較
申込者数		1, 488	1, 563	1, 869	+306
完走者数		1, 328	1, 406	1, 687	+281
完走者数内訳 ①	県 内	1, 148	1, 218	1, 338	+120
	市 内	462	570	637	+67
	市 外	686	648	701	+53
	県 外	180	188	349	+161
完走者数内訳 ②	親 子	312	375	412	+37
	小学生	185	197	206	+9
	中学生	23	30	45	+15
	一 般	769	731	904	+173
	～R6 ジョギング R7～スマイルラン	39	73	120	+47

報告事項（５）全国大会等出場選手について

◇令和７年全日本柔道形競技大会

- 《会期》 令和７年５月31日
《会場》 講道館（東京都）
《出場選手》 あわら柔道クラブ立志塾

報告事項（6） 5～6月 教育委員会 行事予定について

令和7年5月23日 ～ 6月28日

月	日	曜日	時間	行 事 名	場 所	所 管	委 員	教育長	部長等
5	23	金	17:00	坂井地区合同教育委員会	角惣	教総	◎	○	
	25	日	8:30	細呂木地区体育祭	細呂木小学校グラウンド	スポ			
			9:00	北潟地区体育祭	北潟小学校グラウンド	スポ		○	
			9:00	東温泉区民運動会	芦原小学校グラウンド	スポ			
			9:00	劔岳地区ふれあいスポーツ祭	劔岳公民館	スポ			
			10:00	第24回フレンチ・トースト・ピクニック2025	金津創作の森美術館	文学			
	26	月	9:30	★議会 一般質問(1日目)	議場	議会		○	部長
	27	火	9:30	★議会 一般質問(2日目)	議場	議会		○	部長
			19:00	青少年健全育成あわら市民会議総会	正庁	文学		○	
	28	水	8:45	金津小学校運動会	金津小学校	教総		○	審議監
			15:00	福井県市町教育委員会連絡協議会総会	越路	教総	◎	○	部長
	29	木	9:30	★議会 産業建設教育常任委員会	議会委員会室	議会			全課
			19:00	少年愛護センター研修会	正庁	文学		○	
	30	金	13:30	日本中国友好協会総会	正庁	市協		○	
			15:30	第2回教頭会	203会議室	教総		○	審議監
6	1	日	10:30	第45回伊井さつきまつり	伊井公民館	文学		○	
	2	月	9:30	★議会 予算決算常任委員会	全員協議会室	議会		○	部長
			11:00	★議会 全員協議会	全員協議会室	議会		○	部長
			13:30	★議会 本会議(閉会)	議場	議会		○	部長
	4	水	19:30	坂井地区子ども会育成研究大会	正庁	文学		○	
	5	木		指導主事訪問■金津中	金津中学校	教総	宮川委員	○	
	6	金	14:00	国際ソロプチミスト福井児童図書贈呈式	203会議室	文学		○	部長・課長
			19:30	前期NEWスポーツチャレンジデー（～6/27毎週木曜日）	B & G 海洋センター	スポ			
	8	日	8:30	第12回市民スポレク祭 ソフトボール競技の部	トリムパークかなづ	スポ			
	13	金		指導主事訪問■芦原中	芦原中学校	教総	坂井委員	○	
	14	土	13:30	福井県幼・小・中PTA活動地区別研修会	みくに未来ホール	教総		○	
	16	月	9:30	第4回学校運営研究会(第4回校長会)	204会議室	教総		○	教総課長・審議監
	17	火		指導主事訪問■金津東小	金津東小学校	教総	齊藤委員	○	
				地場産プラスワン給食	各小中学校	給セ			
	19	木	15:00	金津高校育成会総会	203会議室	教総	宮川委員	○	部長
	20	金	9:00	坂井地区中学校夏季総合競技大会(～21日)				○	
	22	日	8:30	風谷峠ファミリー登山	風谷峠 他	文学			
	24	火	13:30	教育委員会定例会	議会委員会室	教総	◎	○	全課
	25	水	15:00	福井県中学校教育研究会坂井ブロック研究集会	坂井地区中学校	教総			
			16:30	日米友好協会総会	101会議室	教総		○	
	26	木	13:25	あわら市小学校音楽会	中央公民館	教総	◎	○	
	27	金	14:00	福井県社会教育委員連絡協議会総会	中央公民館	文学		○	

◎＝全員

令和7年5月23日 ～ 6月28日

[illegible]